

令和4年4月22日(金)

4月授業参観日 校長講話

牧野 孝裕

皆さんこんにちは。本日は保護者の皆さまには、大変お忙しい中ご来校いただき、ありがとうございます。私はこの4月から参りました牧野孝裕と申します。どうぞよろしく願いいたします。

出身は飯田市です。もともとは上久堅という天竜川の東の山奥で育ったので、川島小の環境もそれに近い感じがして懐かしく感じます。

既にご存知の方も多いと思いますが、実は私は平成29年から30年までの2年間、この川島小学校の教頭として勤務しておりました。平成30年度は清水校長先生のもとで働いておりました。学校の隣の住宅に住み込んでいました。その後、南信教育事務所の飯田事務所で2年間、昨年度は伊那の南信教育事務所で1年間務め、また本校に戻ってきた次第です。このような事はあまりないことですので、私もびっくりしたのですが、きっと川島とは切っても切れない縁があったのだと思います。また、これから改めて皆様と仲良くさせていただければと思います。ぜひ、気軽にお声がけいただき、いろいろお話を聞かせていただければと思います。

私がいたころとはだいぶ子どもも職員も入れ替わっておりますので、また新たな気持ちで川島小学校の子どもたちの健やかな成長のために全力で頑張りたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

さて、令和4年度が4月6日にスタートして、もうすぐ1か月が経とうとしています。

入学式で、1名の新入生を迎え、全校児童10名でのスタートとなりました。始業式では子どもたちのやる気満々な姿が見られました。

始業式で子どもたちには話したのですが、今年度の川島小学校の重点目標について、今日は保護者の皆さんにも説明したいと思います。

今年度の重点目標「いわかがみ」に向けて、私たち職員も全力で子どもたちの学びを支えていこうと考えています。

「いそしむ」事のできる学習環境を整えていきます。子どもたちが夢中になって問題解決や目標に向かって一生懸命取り組むことのできる学習の場を提供したいと思っています。

そのような「いそしむ」場を作り出すためには、子どもたちが「ワクワクすること」を自分で見つけ出すことが必要です。子どもたちが興味関心を持っていることについて職員が捉え、「僕は、私はこういうことがワクワクすることなんだ!」と思えるような学習の場づくりに力を注いでいきたいと考えています。

そして、「かがやく自分を」を見つけることも大事です。何となくこれまで「できるかな」「本当に大丈夫かな」と不安に思っていたことが「やってみれば自分にもできるじゃん!」「みんなのためにこんなことができるぼく・わたしってすてきな!」と思えるような体験や経験を積み重ね、どんなことにも自信を持って取り組むことができるような力をつかみ取ってほしいと考えています。(子どもの何気ない行動→状況を考え自分なりに判断して実行できる姿)

このような素敵な自分を「みがき」(切磋琢磨・互いの姿から刺激を受けて自分の行動に活かす)「みとめあう」(友達のががやいているすてきな姿を見て素直に「いいね!」と思えること→それを声に出して伝え合えるようにしたい)ことで、自己肯定感・自己有用感を子どもたちがどんどん高

めていけるようにしていきたいと思います。

子どもたちが自己肯定感・自己有用感をもつことができるように、私たち職員は「お膳立てしすぎない」ということをキーワードにしています。本当なら子どもが自分で手を下して解決できることを、大人が勝手に先回りして全てやり方や道具を決めて準備してあげて「さあどうぞ」という学習活動にしないように心がけていきたいと考えています。「これをやるにはどうすればいいかな?」「これをつくり上げるには何が必要かな?」と常に子どもたちに問いかけ、思考して自分なりに説明したり決め出したりする時間を大事にしたいと思います。子どもに決定権を委ねることって実はとても大事な事なのです。

自分で決めることができたことで、安心感を持つことができますし、そのことについて責任を持つことにもつながります。そして自分で決めたことをとことんやりぬき、何かをやり遂げた時の達成感を得られた時には、ものすごい自信をもつことにつながります。もちろん自分で決めたことが上手くいかないときや失敗してしまうことだってあるかもしれません。でも、私たち職員のスタンスは「失敗してもいいじゃん!」「次にまた頑張ればいいじゃん!」というスタンスです。結果ではなく子どもの挑戦していく「過程」を大事に見ていきたいと考えています。その過程で少しでも前進したことや成果が見られたら、「やったね!」「あなたが自分で決めたことを頑張ってきたからできたんだよ!」と大いに認める声掛けをしていきたいと思います。

保護者の皆さんも、ぜひご家庭で少しずつでもいいので「子どもに決定権を委ねる」場面を作ってください、できたことを大いに認めていただければと思います。子どもに任せることや委ねる事には実は相当な勇気が必要ですが、私たちが勇気を持って子どもを一人の人格として信じて委ね、少しでもできたことを認め、愛情を注いでいきますので、お家でもぜひご協力をお願いします。

明日から3日間の日程で辰野町の御柱祭が開催されます。渡戸にも御柱祭を祝う華やかな装飾が道路沿いにみられます。宮木諏訪神社と辰野三輪神社では建御柱が行われる25日月曜日は、町内全小中学校は計画休業となっております。辰野の御柱祭の雰囲気を感じ取ってもらえれば幸いです。ちなみに、川島区で行われる「横川御柱祭」は10月8日に予定されているようです。こちらも楽しみです。

また、再来週には大型連休に突入します。4月は子どもたち全員が張り切り過ぎるくらい張り切って毎日を生活していたと思います。もしかすると、頑張り過ぎて心身共に疲れが出てくる頃かと思っています。連休明けにまた元気いっぱい学校生活を送れるよう、連休中は子どもたちもしっかり休養して充電できるようご配慮いただければと思います。

子どもたちが、「いわかがみ」の重点目標をこの1年間の中で少しでも達成できるよう、全職員で全力で支えていこうと思います。どうぞよろしく願いいたします。